

一チをしていかなければならない。その意味で、JACTFL が担う役割は非常に大きいと言えよう。

## 7. 結語

2000年4月に開設した本校韓国語コースの今までの変遷と現況、さらに今後の課題を概括してみた。世界規模で見た場合、韓国語(朝鮮語)は決して大きな言語とは言えない。英語や中国語、それに今後台頭が予想される東南アジアや中東の諸言語に比べると、使用者の人口は多くない。しかし、何といても日本人にとって最も近い国の言語、すなわち「近隣語」であり続けることに変わりはない。朝鮮半島をとりまく政治環境は未だ不安定であり、ある意味予断を許さない状況である。また、ここ10数年来良好に見えた韓国との関係も、歴史認識や領土問題が外交問題にまで発展し、市民交流にも影響を及ぼしかねないところまで来ている。このような難しい時期だからこそ、日本の若者がしっかりと「近隣語」を学び、政治に左右されない土俵で自由に議論できるような環境を、我々教育関係者は作っていく必要があるのではないだろうか。

(関東国際高等学校)

### Bridging the Gap Between High Schools and Universities through Korean Language Education—Insights from 13 Years of Experiences at Kanto International Senior High School—

Shinji KUROSAWA

Thirteen years have passed since the establishment of the Korean Language Course at Kanto International Senior High School. This paper reflects on past experiences and discusses future challenges.